

西尾市地区別防災カルテ

①基本情報

地区No	22
地区名	吉田小学校

●地区の概況

市南端部、矢作古川と矢崎川の河口部に位置する。北部は三角州、南部は干拓地で、その大半は農地として利用されている。両河川付近には自然堤防が形成されている。東部が中心街となっており、名鉄・吉良吉田駅がある。また、北に向かって西尾線が、東に向かって蒲郡線が伸びている。北部を国道247号が東西に横切っている。

●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	1701	世帯
65歳未満	3623	人 71.4 %
65歳以上	1426	人 28.1 %
合計	5075	人

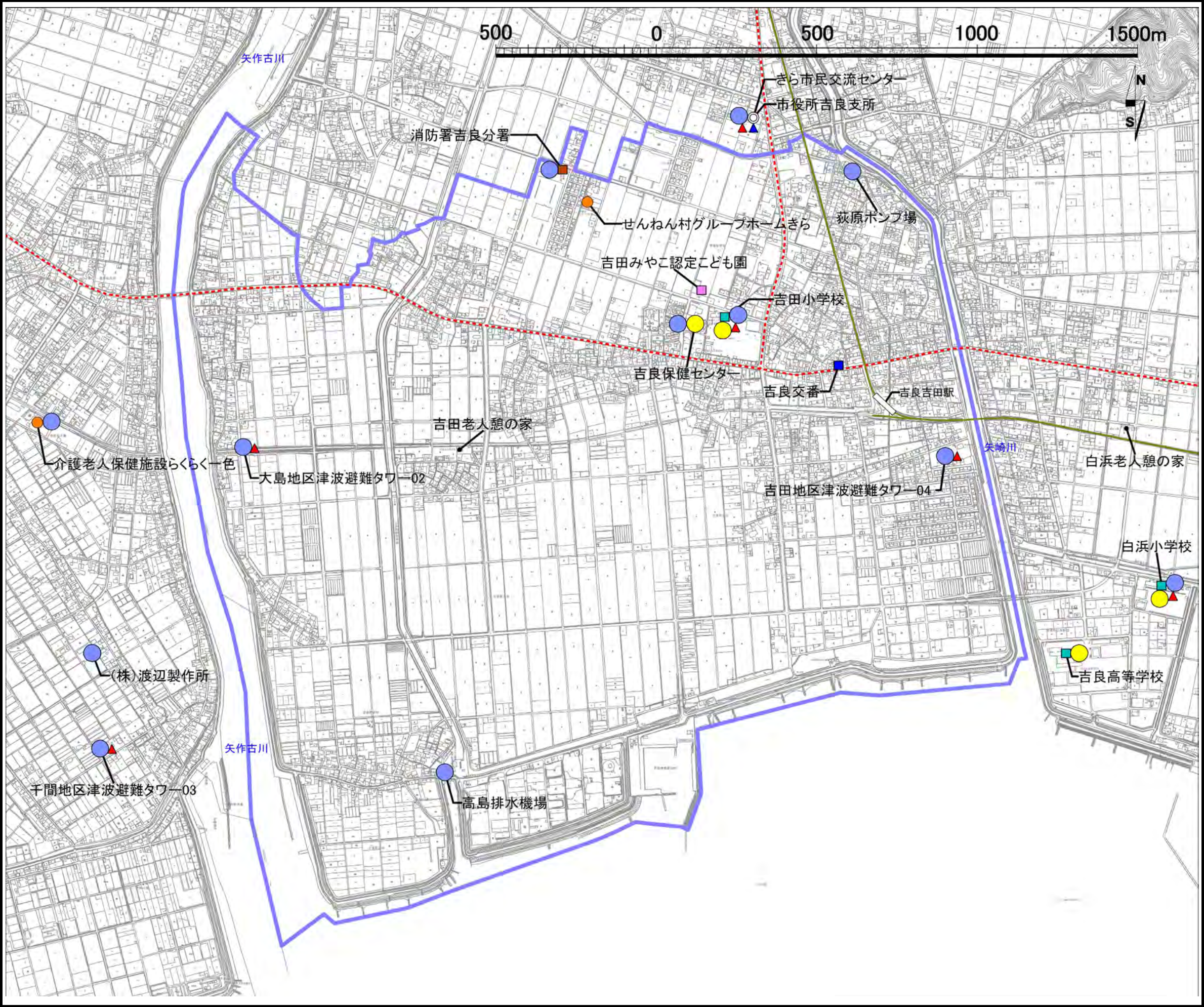
※合計値は年齢不詳の人口も含む

●地区の課題

洪水、高潮発生時には、ほぼ全域が浸水し、避難所が浸水する可能性があるため、状況に応じて地区外への避難を検討する必要がある。
地震発生時は全域で建物倒壊や液状化の危険性が高いほか、住宅密集地では延焼火災が発生するおそれがある。
津波が発生した場合は、横須賀方面への避難が必要となる。沿岸部は干拓地で標高が低い
ため、浸水の危険性が高い。

●凡例

● 指定緊急避難場所・指定避難所	■ 学校
● 津波一時待避所	■ 幼稚園・保育園等
● 福祉避難所	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・ その他備蓄倉庫等
◎ 市役所・支所等	▲ 水防倉庫
■ 警察署等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
■ 消防署等	▲ 防災活動拠点
■ 救急病院	▲ 衛生施設
◆ 水位観測所	● その他の施設
◆ 雨量観測所	
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

②洪水被害・土砂災害

地区No	22
地区名	吉田小学校

●地区別大雨等被害の特性

ほぼ全域で3m以上5m未満の浸水が想定されている。
地区内にあるすべての指定避難所、福祉避難所、幼稚園・保育園、小学校が浸水想定区域に含まれており、当地区外の避難所として幡豆小学校が指定されている。

●避難環境評価

避難所収容者数	3607 人
避難者数	5075 人
最長避難距離	約 2.5 km

※避難所収容者数は洪水時のみの人数

●最大浸水深

対象全河川(重ね合せ)	5m以上10m未満
矢作川	5m以上10m未満
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	3m以上5m未満
朝鮮川	範囲外
矢崎川	1m以上3m未満
北浜川・二の沢川	範囲外
乙川	範囲外
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	0 箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	0 箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	0 箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	0 箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0 箇所

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(洪水・土砂時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所

学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

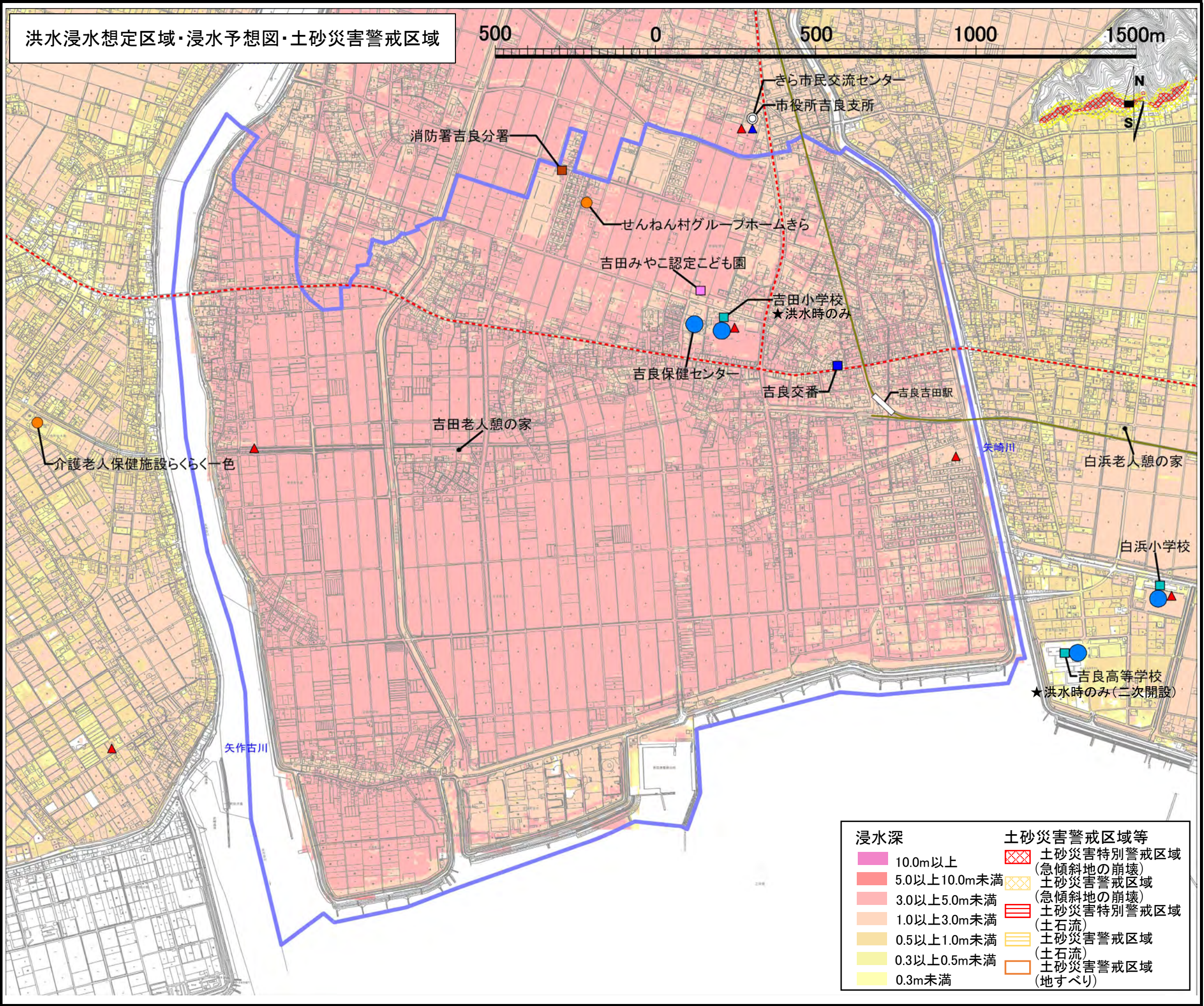
その他の施設

小学校区界

鉄道

市町村界

緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

③地震被害

地区No	22
地区名	吉田小学校

●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、ほぼ全域で震度6強、一部では最大震度7となる。(下図参照)
ほぼ全域で液状化の危険度は極めて高く、吉田小学校や、緊急輸送道路である国道247号、西尾吉良線は液状化被害を受ける可能性が高いほか、吉良吉田駅北側の住宅密集地では延焼火災の危険性がある。

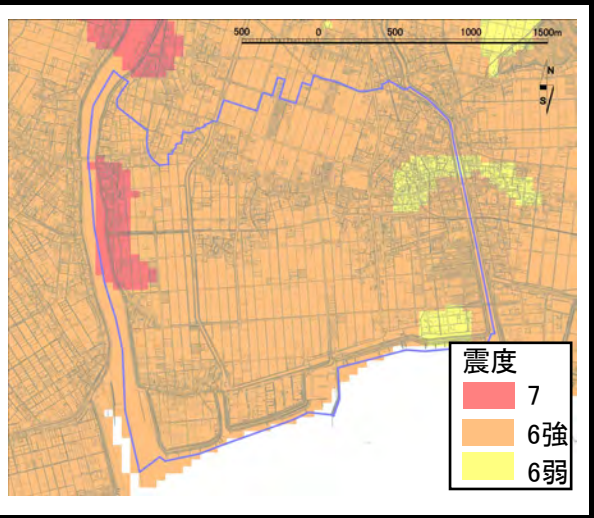
●避難環境評価 ※平成26年地震被害予測調査結果より

避難者数 ※津波による建物倒壊避難者も含む	4849 人
--------------------------	--------

●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

建物全壊数	1023 棟
建物半壊数	1456 棟
死者数	110 人
重傷者数	38 人

●過去地震最大モデル震度分布図



●凡例

● 指定緊急避難場所・指定避難所 (地震時使用可)

● 福祉避難所

◎ 市役所・支所等

■ 警察署等

■ 消防署等

■ 救急病院

◆ 水位観測所

◆ 雨量観測所

■ 学校

■ 幼稚園・保育園等

▲ 防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等

▲ 水防倉庫

▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽

▲ 防災活動拠点

▲ 衛生施設

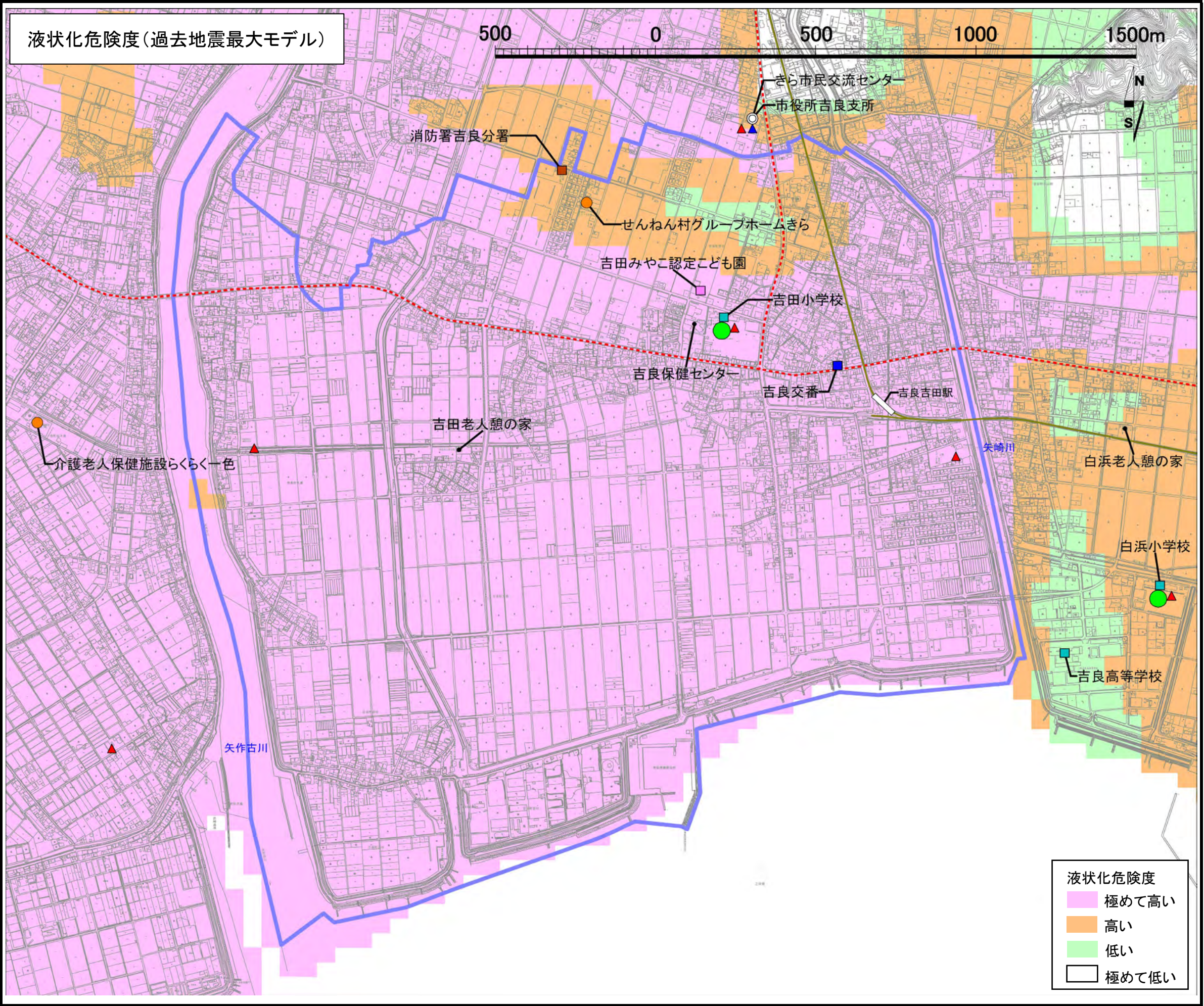
● その他の施設

— 小学校区界

— 鉄道

- - - 市町村界

- - - 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

④津波被害

地区No	22
地区名	吉田小学校

●地区別津波被害の特性

地区のほぼ全域が浸水想定区域であり、広範囲で浸水深が1m以上3m未満となり、地区南部の一部地域では3m以上5m未満の浸水が想定されることから、避難目標は地区外にある横須賀小学校、横須賀保育園等である。逃げ遅れた場合は、地区内に7箇所ある津波一時待避所に避難するが、いずれも浸水想定区域内にあり、高層階へ避難する必要がある。

●避難環境評価

津波一時待避所収容者数	3626 人
避難所収容者数※1	0 人
避難者数	5075 人
津波浸水想定区域外までの距離※2	約 6.7 km

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画(令和5年4月修正)に記載された校区のみ記載している。

●津波浸水深

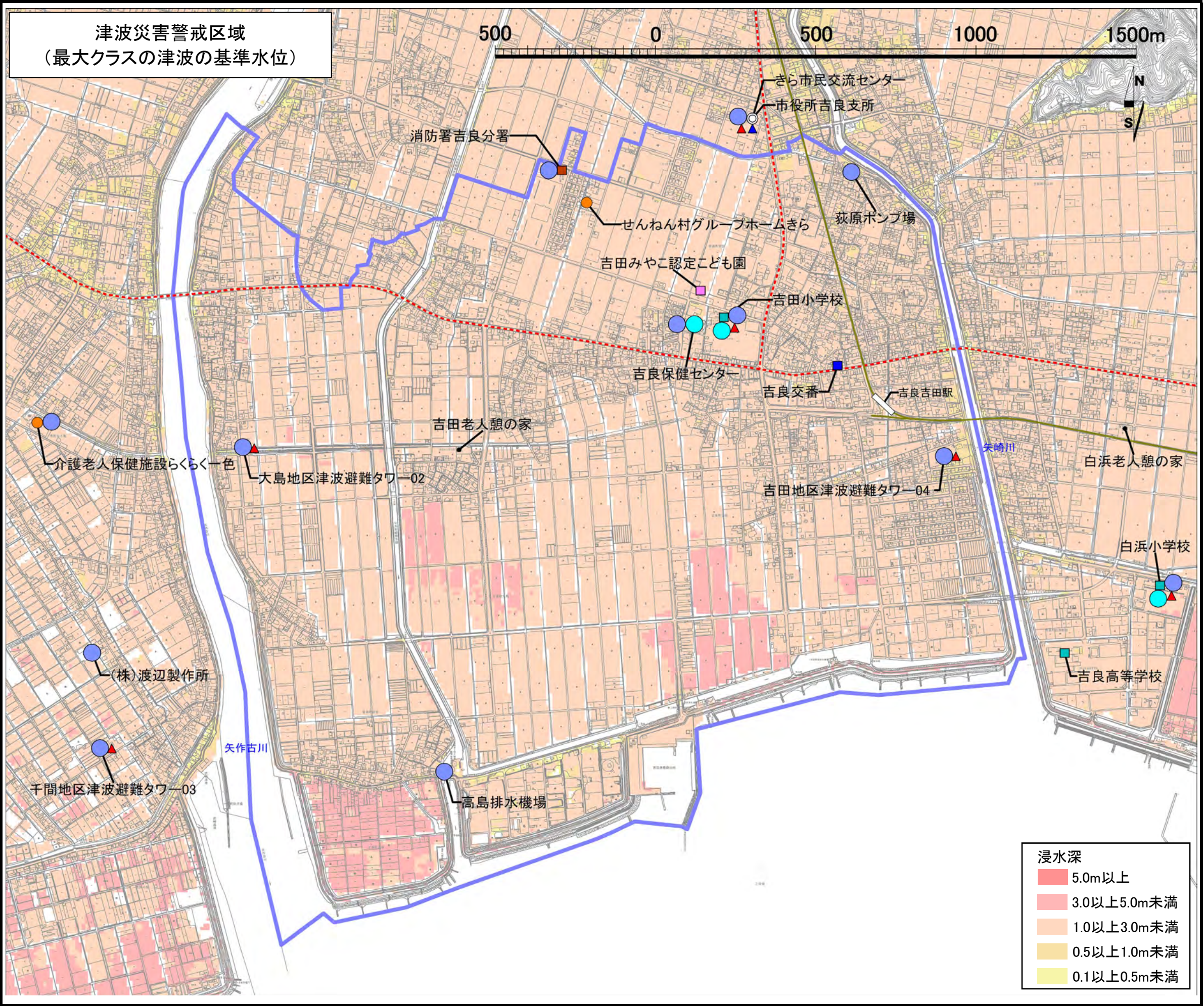
最大クラスの津波の基準水位	
最大津波水位	3m以上5m未満
過去地震最大モデル(参考)	
最大津波浸水深	3m以上4m未満

●津波発生時の避難先

避難目標:横須賀小学校、横須賀保育園、横須賀ふれあいセンター
緊急避難先:吉田小学校、吉良保健センター、荻原ポンプ場、大島地区津波避難タワー02、吉田地区津波避難タワー04、消防署吉良分署、高島排水機場

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(津波時使用可)	学校
津波一時待避所	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

⑤高潮被害

地区No	22
地区名	吉田小学校

●地区別高潮被害の特性

ほぼ全域が浸水想定区域となっており、広範囲にわたり3m以上5m未満の浸水深となるほか、一部では最大浸水深が5m以上となる。
指定避難所である吉田小学校、吉良保健センターや地区内に1箇所ある福祉避難所は、いずれも浸水想定区域に含まれている。
早期の地区外への避難も検討した方がよい。

●避難環境評価

避難所収容者数	8580 人
避難者数	5075 人
最長避難距離	約 2.5 km

●高潮浸水深

最大高潮浸水深	5m以上10m未満
---------	-----------

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所
(高潮時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所

学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・
その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

その他の施設

小学校区界

鉄道

市町村界

緊急輸送道路

